

戦略的創造研究推進事業

京大など132件決定

J S T

科学技術振興機構(JST)は戦略的創造研究推進事業(CREST)を

イブ、さきがけタイプ)の06年度第2期募集分の新規採択課題として、「器官のグローバルな非対称性と一細胞の極性をつなぐ機構の解明」(研究代表者||上村匡京都大大学院生命科学研究所教授)などCRESTタイプ21件、さきがけタイプ111件の合計132件を決定した。

CRESTタイプでそのほかの研究課題と研究代表者は次の通り。

【生命システムの動作原理と基盤技術】▽短周期遺伝子発現リズムの動作原理(影山龍一京大ウイルス研究所長)▽シグナル伝達機構の情報コーディング(黒田真也東京大大学院理学系研究科教授)

▽生物の極性が生じる機構(濱田博司大阪大大学院生命機能研究科教授)▽行動を規定する神経回路システム動態の研究(森郁恵名古屋大大学院理学研究科教授)

【実用化を目指した組み込みシステム用デバイス】▽オペレーティングシステム▽高信頼組み込みシステム▽高信頼マイクロOS(石川裕東大情報基盤センター教授)▽省電力高信頼組み込み並列プラットフォーム(佐藤三久筑波大大学院システム情報工学研究科教授)▽マイクロユビキタスノード用高信頼OS(徳田英幸慶応義塾大環境情報学部教授)▽超高機能情報家電のためのオペレーティングシステム(中島達夫早稲田大理工学術院教授)▽高信頼

システムソフトウェア構築技術に関する研究(前田俊行東大大学院情報理工学系研究科教授)

【ナノ界面技術の基盤構築】▽有機シリカハイブリッド材料のナノ構造制御と機能創出(稲垣伸二豊田中央研究所フロンティア研究部門主席研究員)▽超高輝度放射光機能界面解析・制御システム(尾崎正治東大大学院工学系研究科教授)▽酸化物・有機分子の界面科学とデバイス学理の構築(川崎雅司東北大金属材料研究所教授)▽錯体プロトニクスの創成と集積機能ナノ界面システムの開発(北川宏九州大大学院理学研究科教授)

【ナノ科学を基盤とした革新的製造技術の創成】▽遺伝子治療実用化のための超分子ナノデバイス製造技術の創成(片岡一則東大大学院工学系研究科・医学系研究科教授)▽再生医療に向けたバイオナノハイブリッドプラットフォーム技術の開発(小寺秀俊京大工学研究科教授)▽ソリユーションプラズマ反応場の自律制御化とナノ合成・加工への応用(高井治名古屋大工科大学工学系研究科教授)▽ナノ界面・

電子状態制御による高速動作有機トランジスタ(塚越一仁理化学研究所)▽河野低温物理研究室(河野俊夫)▽液体晶性有機半導体材料の開発(半那純一東京工業大大学院理工学研究科教授)▽マイクロ空間場によるナノ粒子の超精密合成(前田英明)▽産業技術総合研究所ナノテクノロジー研究部門マイクログラフ・ナノ空間化学グループ(長)